

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・細胞・排泄物など）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（血液・細胞・排泄物など）を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	肥満外科手術を行った肥満症患者の予後予測にむけての摘出標本の評価
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	消化管・腫瘍外科 阿部陽介
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年09月30日
対象となる方	2017年01月から2023年05月に愛媛大学医学部附属病院で減量手術を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等 (利用する試料) 手術で切除された胃の標本
研究の概要 (目的・方法)	肥満症患者は世界中で増加傾向にあり、生活習慣病や肝機能障害、睡眠時無呼吸症候群などの合併症リスクと関連しています。肥満外科手術は肥満症に対する治療として、十分な効果をもたらすことが知られていますが、一部の患者では体重減少が不十分であったり、リバウンド症例がみられたりと、術後の成績は個人で一貫しておらず、その原因を探るため、今回、肥満外科手術における有効性について、手術で摘出された胃の標本との関連について検討を行うこととしました。本研究を進めることで肥満関連疾患の予防や改善・治療へとつなげることを目指します。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重

	<p>に保管し外部への提供は行いません。</p> <p>また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院消化管腫瘍外科 阿部陽介</p> <p>791-0295 愛媛県東温市志津川 454</p> <p>Tel: 089-960-5975</p>